

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	常時車椅子使用の方の日々の生活については、ホーム内で検討されても良いと思います。	常時車椅子使用の方が安楽に生活できるよう配慮が行える。	GH会議で勉強会を行い、なぜ常時車椅子対応ではいけないのかということを全員が理解し、本人の希望ではない方に関してはイスへの移乗を行い安楽に生活をしていただく。	3ヶ月
2	16	家族の方との外出ができれば良いと思いますが、難しい方の家族に対しては、ホームで入所者と昼食を食べる機会を提供し、身体状況や生活の様子を見て頂く事も良いと思います。	家族様が気軽に昼食を共にできる環境づくりを行う。	毎月のお便りや、行事のご連絡の際に、提案を行う。面会時にゆっくりとすごしていただけるスペースを用意し、気軽に昼食を共にできる環境作りを行う。	6ヶ月
3	26	今後課題に生きる目的、生きがいを取り入れられると良いと思います。	各お客様へ合わせた企画作りを行う。	各お客様に聞き取りを行い、行事の企画、実施を行う。生きがいを持って頂くために何をすればよいのかアセスメント、カンファレンスを行いケアプランに反映させ実施していく。	6ヶ月
4	33	重度化や終末期の症状や病気についての勉強会を看護師中心に行われても良いと思います。	職員全員が重度化や終末期の対応に対する理解を深める。	法人のGH委員会で提案し、重度化、終末期の症状についての勉強会の開催を提案、実施していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。